

分会ニュース2017

全日本港湾労働組合
関西地方建設支部
太平ビルサービス分会
大阪府中央区瓦町1-6-10
電話 06-6229-3620

太平ビルサービス分会第43回定期大会 大盛況のうちにおわりました

第43回分会定期大会も盛況の中、無事に終わり二部では恒例のくじ引きで商品が全員に当たると言う今までに無い盛り上がりでした。1等の商品は今、世間で評判の充電式掃除機から始まりコーヒーセットまで幅広く揃えました。



料理は言うまでも無く大名メニュー。過去に来られた事の有る非組合員さんならご存知の通りです。



もちろん、一部でもキッチリと決める事は決め、一年間の活動報告とその結果報告。新執行委員も選任され新しい分会

の出発です。



最近、分会組合員への攻撃も目に見えて増えて来てますが、あなたの所は大丈夫ですか？役員全員で守り抜いて行きます。



色々と問題も有ると思いますが、せめて職場環境だけでも良くして働きやすい職場にして行きましょう。気が早いですが来年の旗開きが楽しみです。もしかするとあなたの町でするかも知れませんよ。今期は行動する組合を目指します。
(分会長 澤田)

活動方針

大会では、次の活動方針が採択されました。
以下、議案書より抜粋します。

今年7月、東大阪市の庁舎で働くAさんは、突然会社から呼出しを受け退職を迫られました。理由も納得のいかないばかりか、従業員を守ろうとしない会社に対し、全港湾建設支部からの抗議と何回も交渉を重ね、現在暫定職場として大東営業所勤務となっています。会社と全港湾建設支部との確約であるAさんの原職復帰を実現させます。

また、16年度の一時金闘争、春闘、他の交渉で噴出した職場要求を取りまとめ実現に向けた取組をします。

- ・定年制の見直しと年齢延長、B表廃止A表への一本化。
- ・正社員、有期社員、パート社員の格差是正。地域間格差の是正。
- ・深夜手当の増額。
- ・作業手順書、緊急連絡表の作成、常備。感染症対策の充実。
- ・全港湾統一要求に従い、労災企業保障額の上積み、育児・介護休業協定の締結、等に取り組めます。

現在、退職、異動や、欠勤等によって月10人程度の新入社員がいます。面接時の組合紹介を正しく行なうよう会社に申し入れています。全港湾加入者はほとんどいません。公正な組合紹介と加入手続きを進めるよう要求します。

今年、入札によって東大阪市のある職場を失いましたが、そこで働く4人の従業員に対し会社は代替職場の紹介や、労働条件の保障等を行なおうとしませんでした。太平ビルサービス分会の取り組みを通して、4人は自分たちの職場を取り戻すことができました。今後も、入札等に屈することなく、職場を守る闘いを行なっていきます。

外部の学習会等に参加し見聞を広めると共に、組合活動に積極的に寄与する事を求めます。

全港湾建設支部のホームページを立ち上げ、宣伝活動を強化します。

本年2月24日未明、建設支部副委員長であり、初代太平ビルサービス分会会長である木○義○さんがガンとの闘病生活の末、亡くなられました。心より冥福をお祈りいたします

追悼文

今を去る43年前、低賃金と長時間労働、そして賃金格差に苦しむ太平ビルサービス大阪支店に働くビルメン労働者は、団結し企業内労働組合を結成しました。当初の企業内労働組合を太平ビルサービス本社は交渉相手にすることもなく、木○さん初め主だった組合役員を解雇しようとした。これに危機感をもった組合役員が助けを求め、出会った組織こそ全港湾建設支部でした。

以来、全港湾建設支部太平ビルサービス分会として様々な問題に取り組むなかで、木○分会長の活動スタイルは「身近な労働組合」でした。当時団体交渉と言え、午後2時から関西地本会議室」というのが通例で、現場の組合員は仕事を段取りよく済ませて、電車を乗り継ぎ地下鉄大阪港へとやってくるのでした。交渉の始まる前に分会員相手に木○さんは、「会社はよう見とるからね。出席の少ない現場はやる気を失くしとる。組合をつぶすチャンスやと思ひよる。きちっと会社のやる事見とかなあかん。会社がおかしな事言うたらすぐ突っ込んだり！」そう言って皆を奮い立たせ、気の張りつめた団交へと導くのでした。

また、職場が広く地域別に分かれているため、各地区集会を開催して意見を集約し、団結を確かめる場としていました。木○さんは他の誰よりも早く駆けつけ、なじみのおばちゃん相手に雑談を交わしながら、賑やかに雰囲気醸成していく。時に集会の趣旨からかけ離れて行く事もありましたが、人と話をするのがたまらなく好きで、分会結成後は仲間と立ち呑みに寄ることも多くなり酒量も必然多くなりました。

昨年、よこしまな考えに囚われた若い組合役員により、謀らずも多くの組合員が全港湾を脱退して行きました。正々堂々、全港湾建設支部に残った分会員は臆する事無く声を上げ、刷新した組織に団結し闘いを継続しました。その姿にかつての太平分会を見出したのでしょうか、病の身体を押して大会に参加されました。

それからしばらく、懐かしむように各地に一人一人を訪ねて思い出話に花を咲かせ、歩んだ道の正しさを確かめて永久の旅路に立たれました。(合掌)